

個別施設計画

策定年月 R2.1

施設名	倉敷古城池高等学校			所在地	倉敷市福田町古新田116-1		
敷地面積	42,605.00 m ²			棟数	44 棟 (計画記載対象 8 棟)		
延床面積	16,036.02 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 6弱		津波 -			浸水 -		
建築規制	市街化調整区域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2018年度)	電気	ガス	水道	燃料 ()			
	399,749 kwh	3,001 m ³	4,764 m ³	0			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 倉敷市指定緊急避難場所・指定避難所(土砂災害、高潮、地震、津波)						

1 施設内建物の概況

名 称	生徒会館(41棟)	トレーニングルーム棟(44棟)15	格技場(5棟)5
築年(西暦)	1989年	1999年	1980年
構 造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨造 1階	鉄骨造 2階
建築面積	358.40 m ²	272.44 m ²	378.45 m ²
延床面積	1,181.54 m ²	272.44 m ²	430.32 m ²
主要な用途 (室名等)	同窓会館	トレーニングルーム	武道場
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備		消防設備(自動火災報知設備)
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし	消防設備(自動火災報知設備)

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	本館(14棟)6	管理・特別教室棟(1棟)1	普通教室棟(27棟)8
築年(西暦)	1981年	1980年	1982年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	831.49 m ²	1,589.34 m ²	258.80 m ²
延床面積	3,241.54 m ²	5,544.46 m ²	1,035.21 m ²
主要な用途 (室名等)	事務室 図書室 普通教室	化学教室 職員室 会議室	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備	該当なし	消防設備(自動火災報知設備)

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	普通教室棟(34棟)10	体育館(28棟)9	
築年(西暦)	1985年	1982年	
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄骨造 2階	
建築面積	125.49 m ²	1,398.84 m ²	
延床面積	501.28 m ²	1,709.66 m ²	
主要な用途 (室名等)	普通教室	体育館	
主要な設備 (屋外を含む)		消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	
利用状況	高	高	
耐震性 ※1	有	有	
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	外壁	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
生徒会館(41棟)	予防保全を図る。
トレーニングルーム棟 (44棟)15	予防保全を図る。
格技場(5棟)5	予防保全を図る。
本館(14棟)6	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
管理・特別教室棟(1棟)1	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
普通教室棟(27棟)8	予防保全を図る。
普通教室棟(34棟)10	予防保全を図る。
体育館(28棟)9	長寿命化改修を行う。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
内部・外部の改修を行う。
(28棟)2025年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
生徒会館(41棟)	予防保全			予防保全を図る。							
トレーニングルーム棟(44棟)15	予防保全			予防保全を図る。							
格技場(5棟)5	予防保全			予防保全を図る。							
本館(14棟)6	設備等の定期更新				トイレ洋式化						
管理・特別教室棟(1棟)1	設備等の定期更新				トイレ洋式化						
普通教室棟(27棟)8	予防保全			予防保全を図る。							
普通教室棟(34棟)10	予防保全			予防保全を図る。							
体育館(28棟)9	長寿命化改修									設計・施工 3	

4. 概算費用

総額 3億円(長寿命化改修)